

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

C

男子 ・女子 回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

Aコート

チーム名				チーム名				
総得点				総得点				
昭和学院高等学校	28	[	10	—	20	]	31	県立浦添高等学校
			18	—	11			
				—				
				—				
				—				
7mTC								

準々決勝第2試合 関東ブロック代表の昭和学院と九州ブロック代表の浦添の対戦となった。浦添

⑬番先制点を決め、続いて浦添が得点を決め、前半5分0対5となり昭和学院T.O。7分昭和学院⑩番得点を決める。続いて昭和学院が得点を決め、前半10分4対5となる。昭和学院ゲームの流れをつかむとするが、浦添⑬番⑪番⑨番が得点を決め、前半15分4対9となり、昭和学院前半2回目のT.O。浦添⑬番⑪番が得点をかさね、23分6対16となる。昭和学院も積極的にシュートを打とうとするが、浦添⑯番キーパーの好セーブもあり、前半10対20で浦添10点のリードをつける。後半開始、昭和学院②番④番、そして⑬番が連続得点をし、後半8分17対22となり浦添T.O。後半16分昭和学院⑬番が得点を重ね、22対24と2点差まで昭和学院追上げる。後半26分25対29となり、4点差となる。後半27分27対29となり再び2点差となるが、浦添も速攻などで得点を決め、29分27対31の4点差となる。28対31で試合終了する。後半、浦添と10点差をつけられた昭和学院が追上げるが、一步届かなかった。浦添が準決勝の進出を決める。

2018年 3月 27日

記載者氏名 中野 健

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

d

男子 ・女子 回戦 準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

Bコート

チーム名				チーム名			
総得点				総得点			
府立洛北高等学校	21	[	13	—	9	]	27
			8	—	18		
			—	—	—		
			—	—	—		
			—	—	—		
				7mTC			
高水高等学校							

準々決勝第2試合は、前日の延長戦で飛騨高山を破って勢いに乗り地元近畿で唯一残る洛北（京都）

と2年前同様今回も入賞目指して戦いに挑む高水（山口）との対戦。スローオフは高水。先制点は

開始直後洛北が決める。序盤は一進一退の攻防が続いたが、開始8分高水13番の好判断で逆点に

成功。続いて6番がここまで3得点を挙げ2点のリードをして、洛北がTOをはかる。中盤に入り

洛北は3連続得点で逆点する。その後両チーム得点を重ねていき、開始20分で高水がTO。速攻を

主体に高水は反撃を仕掛けていくがなかなか追いつけない。一方洛北は、バランスの良い守りと攻め

でリードを4点に保ち13対9で前半を折り返す。後半、先制は高水の主将6番が得点する。洛北

は3点連取で高水を寄せ付けず、相手の速攻に即対応すべく守りを緩めない。洛北のTO後、両者が

激しく得点を繰り返し、ついに高水は6番のシュートで同点に追いついた。さらに3連続得点をした

高水はリードを3点にし、洛北はTO。その後、高水の勢いを止めることはできず、高水はさらに得

点を加算し、21対27で高水が後半逆転を果たし2年ぶりに準決勝進出の権利を得た。

2018年 3月 27日

記載者氏名 沖谷 晃一郎